

3. 幼小一貫教育の拡充
昨年からの播磨西幼・小一貫教育に加えて、本年度から蓮池幼・小一貫教育を始めます。また、就学前教育の充実を図ります。
4. 青少年健全育成のさらなる充実
子どもの安全・安心の確保と、長欠児童・生徒への指導の徹底を図ります。
5. 人権教育のさらなる充実
家庭教育の充実を図る啓発と指導の充実にも努め、幼児期からの人格形成に視点を当てた取り組みを進めます。
6. 生涯スポーツ・文化の拡充
平成18年度から中央公民館や図書館、体育施設、コミセンなどの施設が指定管理者によって運営されています。教育委員会は、指定管理者とよりよい連携を図り、従来に増してサービスが向上するよう努めます。

以上、教育委員会としての本年度の重点的な取り組みの概略をお知らせしましたが、具体的な取り組みについては、「播磨町の教育」や「広報はりま」の教育のページをご覧ください。皆さま方のご理解とご支援をお願いし、「播磨町の教育は、播磨町のみんなの手で」のもとによりよくお願いいたします。

4月1日、教育委員会委員に就任されました。



浅原 重利さん



熊野 道子さん

播磨町に最適な教育条件の整備を



教育長 大辻 裕彦

21世紀を迎えて5年が経過し、6年目を迎えています。国内の行財政並びに教育・文化など、全ての面で新しい時代への改革が進められ、国際的にも20世紀に経験しなかった新しい課題が多く生じています。

わが国では国際的に見ても少子高齢化が急激に進み、全ての国民の生きがい創造に焦点を当てた施策が多く検討されています。幼児から青少年を対象とした次世代育成に関する施策や成人や高齢者に対する施策など、教育・福祉の分野での取り組みが重視されています。

播磨町においてもこの傾向は顕著であり、教育委員会としましては、教育の面で時代の世相と地域の実態に即した播磨町に最適な教育条件を整備しようとしています。

「広報はりま5月号」において、平成18年3月議会で佐伯町長から示された本年度の施政方針が掲載されています。その中で第3次播磨町総合計画の「まちの将来像」の1つ目の柱の「豊かな心を育み、文化を創造するまち」に即して、教育委員会としての取り組みを具体事業として紹介してみたいと思います。

1. 小・中学生の読書活動の充実

各学校の図書室や学級文庫の充実と全蔵書のデータベース化、司書の導入などによって読書活動の日常化を図り、豊かな感性の涵養と豊富な語彙の習得などを目指します。

2. 英語活動の導入

国際化時代に対応できる能力を育成するため、小学校3年以上に英語活動を週1時間取り入れます。さらに幼稚園と小学校低学年に外国人とふれあう活動を取り入れます。

播磨小学校
夢をもち、未来を拓く「人間力」を育む教育の推進



藤原 暁美 校長

―より高く、より広く、より深く、本校のシンボル「くすのき」のように―

本校では、夢と希望をもって、国際化、情報化、少子・高齢化が更に進展する未来を主体的かつ創造的に生きていく「人間力」を育む教育を目指し、その基礎となる「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」を育成する教育を推進しています。

本年度も、全職員が全児童を育てる“という姿勢で、スマイルとW-I-T-H精神を大切にしながら、職員一同、心を一つにして、より充実した教育活動を展開していきます。

教育目標
知・徳・体の調和のとれた児童の育成
目指す児童像
◎夢を持ち、ともに未来を拓く心豊かな播磨っ子

- 意欲的に学ぶ子
- 心豊かにくらしを営む子
- 元気よくやりぬく子



- 努力目標**
- ①基礎・基本を生かし、学びを発展させる力の育成
 - ②ともに生きる豊かな心を育む教育の充実
 - ③生涯を支える健康・安全教育の充実
 - ④地域に開かれた特色ある学校づくりの推進

本年度も保護者の皆さまや地域の皆さまの深いご理解と温かいご支援・ご協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。

<http://www.harisyoun.harimakyoku.jp/>

蓮池幼稚園
心豊かにたくましく生きる力の基礎を育む教育の推進



森田 紀子 副園長

―幼稚園・家庭・地域社会での生活が相互に循環する中で―

適切な環境の中で、教師が適切な指導をしていくことで、幼児は自分の力を発揮していきます。そこで、幼児一人ひとりの発達をとりえながら、日々の教育活動をしていきます。また、幼稚園教育から小学校教育への円滑な移行へ向けて、園児と小学生や教師同士の交流を進めていきたいと考えています。

教育目標
心豊かに生き生きと活動する子どもの育成
目指す幼児像
○自ら学び、考え、活動する子ども

- 心豊かな子ども
- 健やかで、たくましい子ども



努力目標

- ①幼児一人ひとりの発達をとりえ教育の推進
 - ②たくましく生きぬく健康・安全教育の充実
 - ③ともに生きる豊かな心を育む教育の推進
 - ④家庭や地域社会との連携の推進
 - ⑤幼稚園教育と小学校教育についての相互理解
- 保護者の皆さまや地域の皆さまから寄せられる期待や信頼を自覚し、全職員が全園児にかかわり、充実した教育活動を推進していきます。

<http://www.hasukieyoutien.harimakyoku.jp/>

播磨南小学校

夢をはぐくむ南っ子に豊かな育ちと学ぶ力を!



高桑 彰善 校長

―学びいっぱい やさしいいっぱい 元気いっぱい やる気いっぱい―

本校は、「やりぬく心」を校訓とし、美しい花と木々の緑に囲まれ、躍動する子どもたちの姿がまぶしく映る、心やすらぐ環境に恵まれた学校です。「分かる楽しさ」「できる楽しさ」「心が通じ合う楽しさ」「なし遂げる楽しさ」に重点をおき、新しい時代を担う子どもたちに、「生きる力」をはぐくむことを目標に、充実した教育を推進していきます。

教育目標
「自ら考え 判断し 実践する児童の育成」

目指す児童像

- すすんでやりぬく子
- すすんで勉強する子
- すすんで友だちと仲よくする子
- すすんで運動する子

本年度の努力目標

- ①分かる授業・楽しい授業づくりと確かな学力の向上
 - ②「伝え合う力」をキーワードとした研究の推進
 - ③豊かな育ちにふさわしい教育環境づくり
 - ④基本的な生活習慣と学習習慣の確立
 - ⑤「南っ子活動・サークル活動・チャレラン・古宮獅子舞伝統継承活動」など、特色ある教育活動の充実
- 本年度も、保護者や地域の皆さまのご支援を賜り、全職員の力を結集して、子どもたちが生き生きとした魅力ある学校づくりに取り組んでいきます。



播磨幼稚園
共に育ち合う幼稚園



田尻 美恵子 園長

―豊かな心をもち、たくましく生きる子どもの育成を目指して―

本園では、友達や異年齢児、地域の人々など様々な人とのふれあいを大切にしてきました。子どもたちは、心の通い合いを通して、心が安定し、人への信頼感が育ってきています。そこで、人のかかわりを大切にしながら、互いに刺激し合ったり認め合ったりして共に育ち合う教育を進めていきたいと考えています。

本園の教育目標
生きる力の基礎を育む
―幼稚園・家庭・地域の連続した生活の中で―
本年度の取り組みとして
信頼関係を基盤に、幼児理解を深め、一人ひとりに応じたかわりをしながら育ち合う関係づくりに努めます。様々な体験ができる場やあたたかい人間関係を大切に、その中で、豊かな心情、意欲、態度を育んでいきたいと思えます。

努力目標

- ①直接体験ができる場を大切に、環境構成を工夫する。
- ②楽しさや感動、学びを共有する場や時間を十分確保する。
- ③互いのよさやがんばりを認め合う仲間づくりに努める。
- ④友達や異年齢児、地域の人々との心の交流を大切に。
- ⑤家庭や地域との連携を深める。



<http://www.harimayoutien.harimakyoku.jp/>

ぼくも わたしも はりまっ子 1年生を迎える会 播磨小学校

退場は、6年生のおんぶやだっこ、肩車...と、1年生にとっては、王様気分でした。これから、どうぞよろしく!

1年生も小学校での生活に、ずいぶん慣れてきました。優しい上級生の拍手に迎えられる、先日の入学式以来、2度目の素敵な花のアーチをくぐりました。6年生のお兄さんお姉さんの温かい手に引かれ、ちよっぴり照れながら、ひな壇に座りました。



拍手でお迎え

新一年生が入ってきたよ。蓮池小学校



毎日ぴかぴか笑顔満開の蓮池小学校です。『妹は、初めてなので、とっても楽しそうな顔をしています。妹はすぐに友達できて私も嬉しい気がします。私のクラスにも来ていっしょに遊びました。時々給食で困った顔を見かけたけど、妹が楽しくやっているので、私は安心しました。』

なかよくしようね

1年生を迎える会 播磨南小学校



とってもうれしい

南っ子(たてわりグループ)のお兄さんお姉さんのおみこしに乗って、花のアーチをくぐって1年生の入場です。どの顔もとっても嬉しそうです。いよいよ「1年生を迎える会」の始まりです。

全校生でじゃんけん列車をして遊んだあとは、南っ子のグループでドッジボールをしたり、キックベースをしたり、帽子とりなどをして楽しく遊びました。最後には、2年生から6年生までのグループのお兄さんお姉さんから手作りのプレゼントをいただきました。帽子、手さげ、メダル、紙コップの人形、お祝いのカード。どれも心のこもったものばかりです。教室に帰ってきてから早速とプレゼントから目を離せないくらい、いいおみやげだったようです。

ごきげんです

プレゼントいっぱいもらったよ! 播磨北小学校

今年も北小学校に、ピカの1年生がやってきました。フィッツアスモールワールドの曲が流れてくると、かわいい1年生の登場です。6年生のお兄ちゃんやお姉ちゃんに手を引かれ、花のアーチをくぐるときは、ちよっぴりほっぺたが赤くなりました。4月21日(金)、1年生を迎える会がありました。最初は2年生から6年生までの出し物です。最後の6年生と一緒に「しっぽとリゲーム」をしてくれました。6年生がしっぽをついてオニになりました。にげるのが早かったけど、いっぱいしっぽがとれました。全校生でゲームをしました。プレゼントもいっぱいもらいました。とっても楽しかったよ!



フレッシュな1年生入学 播磨中学校



何組だろう

これで播磨中学校も、3学年がそろい、これから生き生きとした活動が繰り広げられていきます。

4月7日(金)、暖かな春の日差しの中、フレッシュな1年生191人が入学してきました。少し大きめの制服を着て体育館に入場する顔つきは緊張気味で、ほんのひと月ほど前の小学生の表情は消えていました。式辞、入学のご挨拶、歓迎のことばのあと、3年生たちが元気に歌う校歌に、ちよっとホッとしました。教室で担任の先生から話を聞いた後、中庭の満開の桜の下で記念写真を撮る姿も見られ、喜びに満ちあふれた一日でした。



新生徒会発足 播磨南高等学校



4月22日(土)、「国際交流 in HARIMA」が中央公民館で行われ、播磨南高校は、音楽部による力強い太鼓の演奏、茶道部によるお茶の振る舞い、そしてボランティアとして参加しました。いろいろな国の人たちと交流を深め、楽しい時間を過ごすことができ、来年はもっと多くの生徒が参加してくれるよう呼びかけていきたいと思ってきました。

4月10日(月)に、新生徒会認証式が行われ、新生徒会役員15人が認証されました。認証式では、みんな緊張していました。生徒の代表であることを改めて自覚し、これからの行事での企画や運営に責任を持っていきたくて強く感じました。初仕事である「部活動紹介」では、12の文化部と16の運動部と協力し、新入生に向けて思い思いの紹介、実演を行いました。各部の「熱」の入った活動のおかげで、今年もたくさんのお兄さんお姉さんお父さんお母さんが入学してくれそうです。

1年生を迎えて 播磨西小学校



なかよしです

わくわくどきどき...今年も期待に胸ふくらませて校門をくぐった新1年生たち。迎えてくれたのは6年生のお兄さん、お姉さん。最初は遠慮がちに挨拶を交わしたペア同士。でも1時間も一緒に遊べば「○○ちゃん、ほら、おいでよ」「待ってよ、お姉ちゃん!」と、すっかり仲良しの兄弟のようです。西小では、入学式から迎えるまで、ほかに休み時間や掃除時間などの様々な時間に、新入生と6年生の交流の場を設けています。「小さく子は苦手かも」「めんどうなんてみられるかな」と、自信なさげだった6年生も、実際に1年生に囲まれてみると上級生気分もまんざらでもない様子。これからの活動にお互いが胸ふくらませ始めた今日のご様子です。

新・南中生「希望に満ちて」 播磨南中学校

食べ盛り、伸び盛り! 中学生になりました



4月8日(土)、平成18年度の新生徒会が満開の桜に迎えられる播磨南中学校の校門をくぐりました。播磨町内の3小学校から149人と古川市からの転入生2人、合計151人で新1年生のスタートです。入学式も立派にこなし、さすが小学校で最上級学年を経験してきた生徒たなあと感心。新入生代表、西小の井谷真美さんの言葉に司馬遼太郎さんの「相手に優しく、自分に厳しく」がありました。小学校での学習がしっかりと根付いているのがうかがえました。制服も表情もやる気も全てが新鮮で意欲的でこれから3年間の成長がとて楽しみみです。学校生活では、手作りのお弁当がやはり一番の楽しみようです。毎日のメニューは大変ですが、育ち盛りの子どもたちに栄養たっぷりの昼食をよろしく願っています。

播磨南高等学校のきゃんぱすだよりは、生徒会が執筆しています。

今の年長児が年中組のときに食の健康運動リーダーの垣内さんに教えてもらいながら、幼稚園のなかよし畑にたまねぎの苗を植えました。

冬の寒い間を乗り越え、春になってどんどん大きくなってきたたまねぎ。年長になった子どもたちはよく見て、「葉っぱが大きくなってきた」と報告してくれます。そこで、皆で畑に行くと決まりました。

「匂い嗅いだらたまねぎの匂いがある」「もう抜けるかな?」などと話していたら、近くを学園北のおいしいちゃんがり通りかき、「たまねぎがもつと大きくなるまでおいとくんやで」と教えてくれました。そこで、もつと大きくなるように、皆で草抜きをしました。

たまねぎ大きくなってよ!



播磨幼稚園



▲みて、みて、みて!
◀こんなに大きくなって

たのしくなってきたよ!

蓮池幼稚園



▲ロボットに変身!

蓮池幼稚園では、新入園の3歳児71人、4歳児19人、5歳児2人を加えた236人の子どもたちの新しい生活がスタートしました。

「おかあさん!」と泣いてお母さんから離れられなかった3歳の子もたちが、お兄ちゃんやお姉ちゃんたちが楽しそうに遊んでいる様子を見て、「おもしろそうだな!」「やってみよう!」と、したいことが見つかり始めています。さあ、今日は何をしようかな!



▶ダンゴムシさん、やっぱりここにいたのね

◀ことりさん(ブルちゃん)おはよう!



▲ねえねえ、ごちそう作ろう!

春ってきもちいいね

播磨西幼稚園



▲チューリップ大好き

▲さくら咲いたね

年長組になってはじめてのお弁当日!! この日は年中も年少もお弁当当りなので、園に残ったのは新年長組さん。午前中は片付けのお世話をしたりして、大忙しの年長さんもみんな帰ってホッとひと息。「先生、今日はお花見弁当しよう!」の子どもの声に「その考え、いいやん」とみんな大賛成。さくらの下でお弁当を食べることにしました。春のあたたかい風にさくらの花びらがちらほら舞う中、手作りお弁当をみんなで食べました。「あ、さくらの花びらが落ちてきた!」「チューリップもきれい」と春の花に囲まれてのお弁当はとびっきりおいしかったです。春って、とっても気持ちいいね。

みんなで作って、楽しくたべよう

播磨保育園

今日のおやつは、みんなで作るフルーツヨーグルトです。「たのしみだね!」「どうやってするのか?」と、朝からワクワクしていた子どもたち。エプロンをつけて「みてみて、お母さんみたい」と、大はしゃぎでした。

ちよっぴりドキドキしながらバナナ、キウイなどのフルーツを落とさないように、そーっとお皿に入れます。その上にヨーグルトをかけるので、あつという間にできあがり!!

新年少児クラスの子どもたちも給食の先生がびっくりするくらい上手にできました。「おいしいね」「おうちでも作ってみよう」と、笑顔いっぱい食べていました。また、みんなと一緒に作ろうね。「ごちそうさまでした!」



▲そう、上手やね。



▲もっと入れよう

あなたに
はつたつち

リレーエッセー⑨4



中谷 七郎さん (宮北)

趣味 好きな磯釣りもご無沙汰!今はデジカメに凝ってます。

『であいのみち』

一昨年から始めた体力づくり。足腰強化を願って、早朝ウォーキングと言っても冬場は寒くて動き辛く運動不足で太り過ぎ。気まぐれに午後から老人クラブから頂いた、派手な緑の帽子にジャンパー姿で播磨町駅から喜瀬川沿いに大中遺跡へ。ふるさと橋を渡り「野添であい公園」まで安全パトロールをかねた90分のプラプラ歩きを楽しんでいます。

春のサクラのころの喜瀬川は高齢者にとって一味違った格別なものがあります。また、資料館前の遅咲きサクラの香り貴き八重桜も良いもので二度春を楽しめる「であいのみち」(あいのみち)が通れなご。心温まる細い道幅が何とも良い「あいのみち」が通れます。

誰かれなしに挨拶をかわし合つ。また、この周辺は弥生人の集落地で笑い声や話声が周りに聞こえてくるような夢はせた、私の好きな遊歩道です。時代劇によく出てくる徳川家の将軍さまの指南役で柳生一族に次のような家訓があります。「小才は縁に逢って縁に気づかず」「中才は縁に逢って縁を活かせず」「大才は袖触れ合う他生の縁もこれを活かす」と言う家訓です。

他生の人でも縁あって僅かな出会いでも大切に、そのチャンスを見過さず最大限に活かして立身せよと言ふこのように、一期一会にも通じるものがあります。

生まれて最初の出会いは両親と親縁、ご近所の人たち。幼友達に学友や恩師、青年時代の悪友たちや職場の先輩や仲間たち、さまざま「出会いと縁」。人に限らず、人と物、物と物が交じり合つて相性が良いもの悪いものも、すべてが縁だろっか?まして男女の縁は、合った瞬間に決まるとも言われています。3日で終わる人もあれば100年の絆となり子孫繁栄となる目出たし、メデタシ!

縁は良縁には限らず「くされ縁も、つまずく石も、かかる鳥の糞も縁のはし」として受けとめ良縁として活かし、この世の「出会いふれあい」を大切にしたいものです。サア、今日あらたな良き出会いに乾杯!

早おき、早ね、朝ごはん



北部子育て支援センターの竹内智佐代先生に聞きました

3歳の男の子ですが、夜なかなか寝ないの困っています。どうしたらよいでしょうか。

A いつまでもぐっぐぐ言っていて寝てくれないと、つい「いい加減に寝なさい」と叱ってしまいがちですが、ちょっと次のことをチェックしてみてください。まず昼間は、どれくらい体を動かして遊んでいますか?運動量が足りないと、いい眠りに入れないことが多いですよ。散歩やかけっこ、砂遊びなど外遊びを十分して、体が快く疲れておなかも空いてきます。2つ目に、夕食を食べる時間は決まっていますか?夕食の時間が一定せず、早かったり遅かったりするのは入眠の妨げになります。決まった時間に夕食を食べ

ると、食後、徐々に体は体温を下げて眠りの体制に入ります。手を握ると暖かくなっています。そして、静かに絵本を読んだりして、ゆったりと眠る状態にもっていきましょう。家族も、テレビを消して、みんなで眠るというようにしたいものです。すぐに寝なくても、根気よく「寝かじつける」というのも、ひとつの「しつけ」です。

最初はしんどいかもしれませんが、根気強く、家族みんなで生活リズムをつくらせていきましょう。



▼サスケコーナー テレビでみたクリフハンガーやそりたつ壁に挑戦する子どもたち。みんな真剣。

▼福祉大会 アイマスクをした人が安心して歩けるように、木の枝の高さなど、障害物に気をつけようね。



▼緑化イベント 寄せ植え講習会



4月29日(祝)、播磨大中古代の村、野添であい公園で健康福祉フェアが、野添北公園で緑化フェアが開催され、1万人が参加しました。

健康福祉フェアで健康チェック



▼健康コーナー 気軽に健康チェックができるいい機会です。多くの方が体成分測定や血管年齢測定などに立ち寄り、アドバイスをもらいました。



▼ステージ たくさんの団体の演技や大人気のはばタンダンスで盛り上がりました。



地域の憩いの場づくり 水田川ふれあい広場餅つき大会

4月16日(日)、本荘北自治会と水田川を守る会が共催し、阿閉橋下流に完成した「水田川ふれあい広場」の完成を祝う餅つき大会が開かれました。

地域に住む人は、子どもの友達を招いたり、離れて住む孫を呼び寄せたりして餅つき大会を心待ちにしています。遊歩道を清掃した後、つきたての餅とアツアツのトン汁で賑やかに広場の完成を喜びました。

自治会長の小林賢一さんは、「本荘北自治会は広いですから、自治会活動も大変ですが、水田川を守る会の活動に協力できてよかったです」と話していました。



▲広場の桜の成長も楽しみです

笑顔のあふれる手作り農園 駅西ふれあい会

駅西ふれあい会が、喜瀬川沿いで休耕田となって荒れていた土地を借り受けて、駅西自治会など多くの人の協力を得て土を盛り、肥やしを施して土壌を育てて畑にしました。



▲手作りの東屋で一息つきます

農園を作った当時、90人の大所帯である駅西ふれあい会の会長を努めていた池本實次さんは「カラオケや旅行などいろんな催しをしているが、それを好まない人もいます。農園を始めることでたくさんの人がふれあい会に参加できればいいと思って始めました」と話してくれました。

今年度の会長の田中直實さんを始め、ここに集う人たちは、「子ども会や自治会の人たちと農園で話しをする機会が増えた。とても自然に地域コミュニティをつくれることが嬉しい」と、子ども会、自治会の区画の分も草引き、水を撒く作業をして収穫を楽しみにしています。

東播磨ふれあいネット (BAN-BANテレビ 11チャンネル)

播磨町・稲美町・加古川市・高砂市の情報番組です。

6月の放送予定 (収録場所 稲美町)

前半 5月29日(月)~6月11日(日)

- 特集 加古川観光協会 (加古川市)
- ふれあいインフォメーション (各市町からのお知らせ)

後半 6月12日(月)~25日(日)

- 特集 南部子育て支援センターがオープン (播磨町)
- ゆうゆうライフ (加古川市)

放送時間 (第1・3月曜日の①以外は再放送) 30分番組

- 月・水・金 ①午前10時 ②午後5時 ③午後10時
- 火・木 ①午前8時 ②正午 ③午後6時
- 土・日 ①午前10時 ②午後6時 ③午後11時

花や緑がきれいな季節になりました。カメラを持って町に出る取っ手になりました。蓮池保育園北側の芝桜。自動車教習所の桜と水田川のカラシ菜の黄色い花のコントラスト。播磨大中古代の村の大きなクスノキの木漏れ日。であいの道のハナミズキ、手入れの行き届いた畑の豆の花。色とりどりに寄せられた花壇やコンテナのパンジーなど。

楽屋裏

(宮)

わんぱくはりまっ子



とみたりお 富田 莉央ちゃん (4才) 野添

やさしく思いやりのある子になってね。(お父さんより)



このコーナーに出ていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(未就学児) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

復元住居が完成

5月2日(火)、大中遺跡で「新築復元住居完成式」がありました。式は播磨小学校6年生と蓮池小学校6年生の約200人が参加して行われました。

テープカットは、はばタンが見守る中、それぞれの代表による、大きな石の斧での、藤つるの切りでなされました。その後、新しい家に案内されました。

この度、新たに加わった復元住居は3棟で、それぞれ少しずつ違います。一番北のものは、車いすでも入れるように、入り口はスロープになっています。管理棟の前のは、少し腰板のある弥生時代でも新しい形の家になっています。西門近くのは、家の入り口が新しい考えを基にしています。全部で5棟になった復元住居が、大



▲いろいろな形の住居が並びました

国際交流 in H A R I M A

4月22日(土)、中央公民館で、地域の国際交流パーティがプロジェクト21はりまと国際交流協会の共催で行われました。

9カ国39人の外国人を含む176人が参加し、豊蘭会による踊りで開幕。各国のお国紹介ではヨガを披露する一幕も。高校生によるお茶の振る舞いや中学生による英語劇や英語の早口言葉など大変盛り上がりしました。

また当日は、多くのボランティアの協力を得てビンゴゲームや盆おどりなどで交流を深め、楽しいひとときを過ごしました。



▲盆おどりをみんなで踊りました

中遺跡のムラのイメージを広げていきます。これで、四季折々が楽しめる大中遺跡の魅力がさらにすばらしいものになりました。これからも、季節の移ろいとともに変わる大中遺跡の風景をぜひ見に来ていただければと思います。